

【新聞】 8月13日 中日・岐阜新聞に掲載
厚生会運営2病院から「名医」最多8人認定

2022年8月13日(土) 中日新聞 可茂版

美濃加茂の厚生会運営2病院から

「名医」最多8人認定

美濃加茂市の中部国際医療センターと中部脳リハビリテーション病棟の医師計八人が、全国の医師同士の相互評価による「ベストドクターズ・イン・ジャパン2022-23」に選ばれた。社会医療法人「厚生会」が運営する両病院では前回計七人が選出されており、今回過去最多という。

ベストドクターズは二年ごとに行われる「名医」の認定制

度。前回選ばれた医師らが「自身や大切な人が特定の専門分野の医師を必要とした場合、誰を選ぶか」という観点から評価する。自身が所属する医療機関の医師は対象外。

今回、国内の医師の約2・2%に当たる七千三百十五人が認定を受け、県内は九十四人が選ばれた。

中部国際医療センターから北島康雄名誉院長(七)、出口隆院長(六)、伊藤芳毅整形外科統括部長(五)、不破信和陽子線がん治療センター施設長(五)、横井繁明泌尿器科部長(五)、増田剛宏整形外科部長(五)、宮本敢右腎臓内科部長代行(五)の七人、中部脳リハビリテーション病院

からだ篠田淳院長(六)が選ばれた。選出六回目の出口院長は「これだけ多くのドクターを選んできた。国内では医療・健康

ベクトドクターズは一九八九

年創業の米医療情報社が始め



ベストドクターズに選ばれた出口院長(左)と篠田院長(右)＝中部国際医療センターで

出口院長「質の高い地域医療提供する」 篠田院長「賞に恥じない立派な診療を」

康・社会保障の情報やサービスを
を提供する「法研」(東京)が
代理で実施している。

▽他の皆さんのコメント(か
つこ内は診療の得意分野)

北島康雄名誉院長(皮膚科一
般) 十五年近く選ばれていて

大変うれしく光栄。これから
も難治性の各種皮膚疾患に取り
組んでいきたい。

伊藤芳毅整形外科統括部長
(股関節外科) 選出され大変
光栄。今後も股関節疾患に苦し
む患者さん一人一人に真摯(しんしん)に向き合い、治療を行っ
ていきたい。

不破信和陽子線がん治療セン
ター施設長(放射線治療) 選
ばれて光栄。この賞に恥じない
ように真摯にがん治療に向か
いたい。

横井繁明泌尿器科部長(泌尿
器がんの外科的治療) これか
らも患者さんはもとより同業者
にも信頼されるような質の高い
診療を行ってきたい。

増田剛宏整形外科部長(整形
外科、脊椎脊髄外科) 思いが
けず大変光栄。これからも地域
医療に貢献できるよう日々精進
したい。

宮本敢右腎臓内科部長代行
(腎臓・透析・バスキュラー
クセス・一般内科) 当院スタ
ッフや大学・近隣の先生方の多
大なるご支援のおかげだと感謝
している。今後もより一層地域
医療に貢献していきたい。

2022年8月13日(土) 岐阜新聞 県内版

厚生会の8医師選出

全国の医師同士の評価による「ベストドクターズ・イン・ジャパン2022」に、社会医療法人厚生会が運営する中部国際医療センター（美濃加茂市健康のまち一丁目）から7人、中部脳リハビリテーション病院（旧木沢記念病院、同市古井町）から1人の

計8人が選ばれた。厚生会にとっては過去最多という。8人は、水痘症などが専門で選出7度目の北島康雄名誉病院長（79）※皮膚科、前立腺肥大症や尿路感染症などが専門で6度目の出口隆病院長（69）※泌尿器科、人工股関節置換術を



ベストドクターに選ばれた中部脳リハビリテーション病院の篠田淳病院長（右）と、過去最多の8人を輩出した厚生会の山田實紘理事長＝美濃加茂市健康のまち一丁目、中部国際医療センター

得意とする2度目の伊藤芳毅副病院長（58）※整形外科、頭頸部がんに対する陽子線治療などを得意とする陽子線がん治療センターの

不破信和センター長（68）※放射線治療科、泌尿器がんの外科的治療が専門で5度目の横井繁明部長（55）※泌尿器科、脊椎後方除圧

術を得意とする初の増田剛宏部長（51）※整形外科、腎臓・透析などが専門の2度目の宮本敢右部長代行（45）※腎臓内科。脳リハからは、悪性脳腫瘍や高次脳機能障害の診断や治療を専門とする篠田淳病院長（66）※脳神経外科が初選出された。山田實紘理事長は「優秀な医師がそろったことは、患者にとっても安心となる。今後とも質の高い医療を提供していく」と述べた。ベストドクターズは、米国の医療情報社が隔年で実施し、日本では医療出版「法研」（東京）が代理運営する。医師が、自分や家族の治療を自分以外の誰に任せるかとの基準で、今回は7315人が選ばれた。このうち岐阜県は94人。（沢野都）

<掲載先>

中日新聞 可茂版 2022年8月13日(土)

岐阜新聞 県内版 2022年8月13日(土)